

中山小學校沿革年譜



1975.3

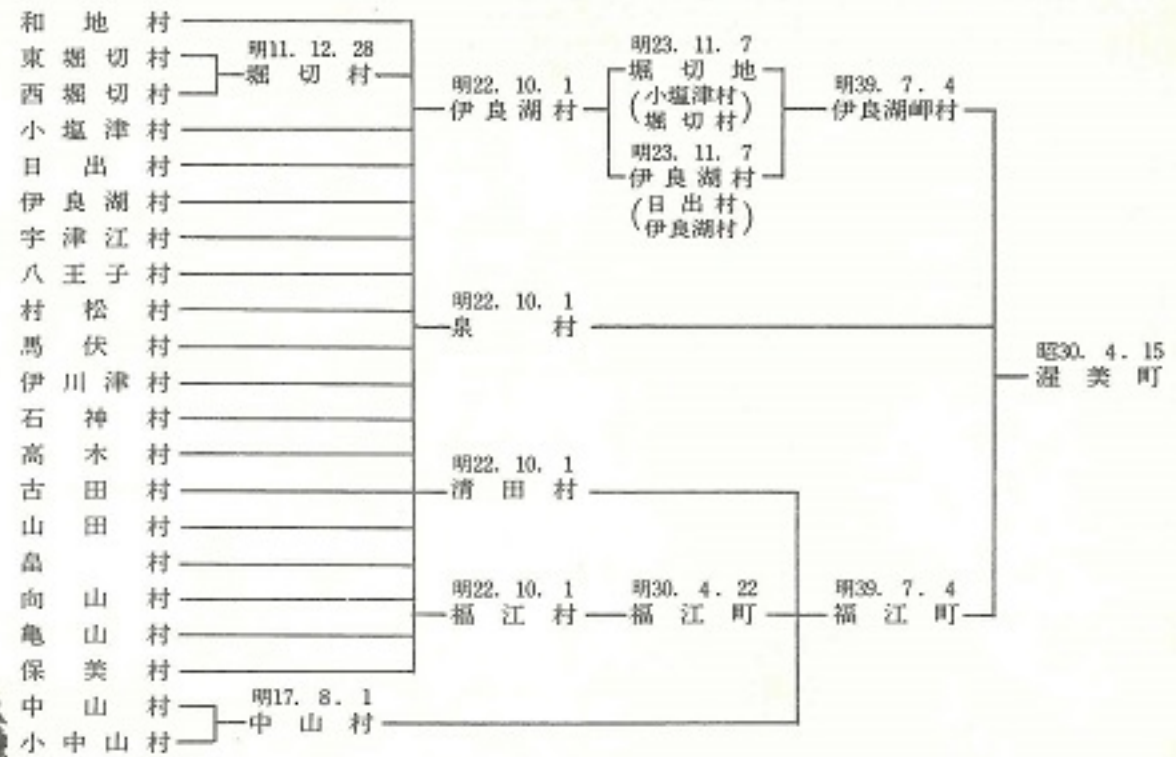
天白100年の流れ……



(昭48.10)



渥美町のおいたち



世紀の風雪に耐えて
あの日あの時の光と影を
そのふしくれたった年輪に
たたみ込んでいる

校庭の中央にそびえるタブノキ
(昔は水引社(おぼの宮)の境内)



中山小学校沿革年譜

西 暦	年 号	重 要 記 事		寺 子 屋	
1868	明治 元	1. 王政復古布告 4. 五か条のご誓文 10. 明治天皇即位		寺子屋教育 江戸時代(享保)～明治初期	医王寺 寛保期一明治15 金剛寺 ? 一明治5
1869	2	3. 府県施政順序を定め、小学校の設置を奨励		中山村内一13か所	竜源院 明治5一明治14 九清院 ? 一明治初
1870	3	2. 大学規則を定める(中に中小学規則を含む) 6. 小学校を東京府6ヶ所に開設			西湖院 文久2一明治初
1871	4	8. 廃藩置県 9. 文部省を設置(長官として文部卿)			鈴木重次郎 天保期一明治初 樋口左衛門 安政期一明治初
1872	5	8. 学制発布 小学教則制定 愛知県の人口127万人			森下市左衛門 文久期一明治5頃 河合彦次郎 文化期一明治5
1873	6	1. 徴兵令公布 5. 文部省編「小学読本」刊行	10	中山村神明社境内に小学校設立 29番小学校日新館と称す	荒木田彦左衛門 享保期一明治5 天野安兵衛 化政期一明治5頃
1874	7	愛知県庁を東本願寺別院内に移す 3. 文部省、小学校で洋算・和算適宜使用許可	3 11	29番小学中山学校と改称 中山夜間学校創立	斎藤宝山 ? ? 春日白斎 ? 一明治
1875	8	小学校の学齢を満6年～14年と定む 4. 小学の算数に珠算を採用		荒木田訓導試補拜命 学校長兼務	
1876	9	7. 米人クラーク札幌農学校へ着任 (少年よ大志をいだけ)		99番小学中山学校と改称	
1877	10	2. 西南の役おこる 愛知県庁を南久屋町に移す		85番小学中山学校と改称	
<p>○ 全国を8大学区→1大学区を32中学区→1中学区を210の小学区 全国に53,760の小学区 各小学区に1校ずつ設立する計画</p> <p>○ 明治6年の小学校数・教員数・児童数等 学校数12,597 教員数27,107 児童数1,326,190 就学歩合 男39.9% 女15.1% 計28.1%</p>					

西 曆	年 号	重 要 記 事			明 治 初 期 の 学 校			
					校 名	所 在 地	創 立 年 月	
1878	明治 11	2	瀬美郡役所設置		83番小学中山学校と改称	和地学校	和地村	明治 6.10
			体操伝習所開設(米人メリーランド)	4	医王寺境内に小中山学校設立			
1879	12	9	学制を廃して教育令を公布			小塩津学校	小塩津村	◇ 11.4
		5	初の県会議員選挙実施			堀切学校	堀切村	◇ 6.10
1880	13	4	幼稚園・小学校で唱歌の授業開始			日出学校	日出村	◇ 11.6
		12	教育令を改正 中央集権を強化			伊良湖学校	伊良湖村	◇ 12.12
1881	14	5	小学校教則綱領制定		中山学校校舎を神明社境内に新築 (49番小学)	亀山学校	亀山村	◇ 12.5
		6	小学校教員心得制定		小中山学校校舎を北郷に新築	中山学校	中山村	◇ 6.10
1882	15	3	伊藤博文憲法制定調査のため欧州へ			小中山学校	中山村	◇ 11.4
		10	日本銀行開業			島学校	島村	◇ 6.10
1883	16	7	教科書認可制度実施		51学区公立小学中山学校と改称	吉田学校	吉田村	◇ 6.10
		9	帝国教育会設立			高木学校	高木村	◇ 11.10
1884	17		名古屋商業学校創設			石神学校	石神村	◇ 12.5
						伊川津学校	伊川津村	◇ 6.10
1885	18		小学校で授業料を徴収			八王子学校	八王子村	◇ 11.9
		12	初代文部大臣に森有礼就任			醉馬学校	江比間村	◇ 6.10
1886	19	4	小学校令を公布(尋常高等の二等とし、尋常科4年を義務教育とする)			宇津江学校	宇津江村	◇ 11.5
						村松学校	村松村	◇ 13.8
1887	20	3	愛知県小学校設置区域と位置改定		第19区尋常小学中山学校と改称	明治 14.4 調		
		5	小学校教科書検定規則制定					

- 学 制 尋常小学 下等小学(6才~9才) 上等小学(10才~19才)
- 教育令 尋常小学 初等科(3年) 中等科(3年) 高等科(2年)
- 明治18年の就学歩合 男65.8% 女32.1% 計49.6%

西 曆	年 号	重 要 記 事		歴 代 校 長			
				氏 名	在 職 期 間		
1888	明治 21	4	市制・町村制公布		尋常小学中山小学校と改称	荒木田 織衣	明8
		11	「君が代」を国歌として条約国に通告				
1889	22	2	大日本帝国憲法公布	10	町村制実施	大岩 乙 尔	◇25
		9	愛知県に津波・暴風雨（死者893人）			篠田 啓	◇26
1890	23	5	府県制・郡制公布			林 大 吉	◇30
		10	教育に関する勅語公布 小学令を改正公布			井出 二 郎	◇32
1891	24	4	小学校設備準則制定・郡制実施	10	濃尾大地震にて小中山小学校校舎全壊	彦 坂 寿 一	◇33
		10	濃尾大地震・被害甚大（死者約9700人）	11	小中山学校医玉寺仮校舎開設	小柳津広三郎	◇40. 3 ~ ◇44. 12
1892	25		県人口150万人をこえる		小中山学校新田一本松下に新築移転	杉 浦 竹 藏	◇44. 12 ~ 大4. 3
					校長 大岩乙尔	杉 山 登	大4. 3 ~ ◇4. 4
1893	26	8	「君が代」を国歌に制定	1	小中山学校新校舎にて授業開始	鈴 木 繁 尾	◇4. 6 ~ ◇12. 9
		10	文部省、教員の政論を禁制	4	中山・小中山尋常小学校と改称	夏 目 久 治	◇12. 9 ~ ◇14. 12
1894	27	1	高知県で初めて教科書に修身書採用	1	中山尋常高等小学校と改称	藤 井 廣 作	◇14. 12 ~ 昭7. 3
		8	日清戦争おこる	11	天皇皇后ご真影奉戴	渡 会 福 治	昭7. 3 ~ ◇11. 3
1895	28					福 井 一 二	◇11. 3 ~ ◇14. 3
						本 多 堅	◇14. 3 ~ ◇17. 3
1896	29	10	第1回国際オリンピック大会（アテネ）		中山尋常高等小学校同窓会創立（9名）	大 羽 保 郎	◇17. 3 ~ ◇19. 3
						小 野 田 正	◇19. 3 ~ ◇20. 12
1897	30	2	福江村を福江町と改称		篠田 啓校長死去	中 神 暁	◇20. 12 ~ ◇22. 4
					校長 林 大吉 同窓会消滅	森 下 清	◇22. 4 ~ ◇35. 3
○小学校令第一条 小学校ハ児童身体ノ発達ニ留意シテ道德教育及 国民教育ノ基礎並ニ其生活ニ必須ナル普通ノ知 識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス ○明治30年の就学歩合 男80.7% 女50.9% 計66.7%						小久保惣五郎	◇35. 4 ~ ◇40. 3
						大谷 雄 一	◇40. 4 ~ ◇46. 3
						斎 藤 公 男	◇46. 4 ~ ◇50. 3

西 曆	年 号	重 要 記 事			歴 代 郡 長				
		氏 名	在 職 期 間						
1898	明治 31	4	公立学校に校長を置く		中村道太	明11.12 ~ 明13.4			
1899	32			小中山尋常小学校校舍増築	松井 譲	◇13.4 ~ ◇33.9			
					山田 正	◇33.9 ~ ◇36.5			
1900	33	3	愛知県庁を中区武平町に移す 教員免許令公布 8. 小学校令改正	中山尋常高等小学校同窓会再興 (26名)	市川信順	◇36.5 ~ ◇40.12			
					木原勝太郎	◇40.12 ~ 大2.6			
1901	34	12	日本赤十字社条例公布		菅 政治	大2.6 ~ ◇8.5			
					河野省一郎	◇8.5 ~ ◇10.8			
1902	35	12	教科書事件おこる	小中山尋常小学校を廃し、中山村立 中山尋常小学校小中山分教場とする	根来長太	◇10.8 ~ ◇12.3			
1903	36	4	国定教科書制度成立						
1904	37	2 4	日露戦争おこる 国定教科書を全国小学校に採用	5 4	天白に新校舍完成、高等科を移す 校地6反3畝26歩 校舍207坪5合				
1905	38	9	日露講和条約成る			教員数	学級数	児 童 数 内 訳 合 計	
1906	39	7 8	福江町誕生 (中山・福江・清田合併) 豊橋市制施行	7	中山村立中山尋常高等小学校廃校	11	尋 8 高 3	397 140	537
1907	40	3 4	小学校令を改正 (尋常科6ヶ年・高等科2 ヶ年・義務教育6ヶ年)	3 4	福江町立中山尋常高等小学校となる 校地5反4畝 校舍2065坪拡張	12	8 3	405 128	533
<p>○明治39年度 高等科授業料1ヶ月10銭 (昭和16年度まで1ヶ月10銭、以後判明せず) ○明治40年の就学歩合 男98.5% 女96.1% 計97.4%</p>									

西 曆	年 号	重 要 記 事				教員数	学級数	児 童 数	
								内 訳	合 計
1908	明治 41	4 10	義務教育年限延長実施 図画を1・2年に加える 戊申詔書発布	6	校地拡張3反8畝25歩 校地面積1町2畝21歩となる	14	尋 9 高 2	501 79	580
1909	42			5	第2期工事完成 中山・小中山校舎を廃し本校舎に移転	15	11 2	593 48	641
1910	43	11 12	白瀬中尉南極大陸探険・大和雪原と命名 徳川大尉3,000M飛行に成功	4	電話設置	15	12 1	636 42	678
1911	44			3	校地校舎拡張 新築459坪 移築22坪	18	12 1	682 55	737
1912	大正 元	7	明治天皇崩御 大正天皇踐祚 大正と改元 県人口200万人をこえる オリンピック大会初参加			16	12 2	668 73	741
1913	2			7 11	校地拡張 山林3畝20歩 同窓会報第1号発行	17	12 2	657 80	737
1914	3	8	第一次世界大戦おこる	5 5	物置建設3.75坪 34円 教員住宅建設 629円	17	12 2	663 76	739
1915	4		渥美郡連合青年会設立	10	聖上陛下のご真影を拝戴	16	12 2	678 80	758
1916	5			3 3	宿直兼礼法室建築13坪 532円24銭 学報第1号発行 11. 校地拡張7畝4歩	16	12 2	702 75	777
1917	6	1 10	公立学校職員制公布 全国小学校女教員大会(わが国最初)	3	学報第2号発行	16	12 2	725 73	798

西 曆	年 号	重 要 記 事		教員数	学級数	児 童 数			
						内 訳	合 計		
1918	大正 7	7	福江町立通俗図書館設置 (1,062冊)	3	学報第3号発行	17	尋 12	714	796
		9	政党内閣はじめて成立 (原敬)	7	農具舎・湯呑場増築		高 2	82	
1919	8			3	学報第4号発行	14	12	699	797
				12	校地拡張5反11歩		2	98	
1920	9	5	わが国はじめてのメーデー (上野公園) 全国小学校就学率99%		農業補習学校併設	17	12	721	797
		10		10	教育勅語下賜30年記念式		2	76	
1921	10	4	尺貫法をメートル法に改正	4	校旗できる (伊藤福一氏) 200円	18	13	722	806
							2	84	
1922	11	4	少年法・矯正院法公布		理科室暗室設備 (118円40銭)	18	13	722	804
		5	大日本青年団成立				2	82	
1923	12	9	関東大震災 (死者・行方不明13万人余)	9	関東震災…被災児童入学	18	12	699	803
		11	国民精神作興に関する詔書発布				3	104	
1924	13	7	メートル法施行			17	12	695	804
							3	109	
1925	14	4	陸軍現役将校の学校配属制度実施	11	校舎増築7教室262.5坪 (18,750円)	17	13	734	841
		7	東京放送局ラジオ放送開始	11	西部オリンピック大会 農舎新築		2	107	
1926	昭和 元	4	青年訓練所令公布 小学校令施行規則改正		中山青年訓練所設立	17	12	724	855
		12	大正天皇崩御 今上天皇踐祚 昭和と改元				3	131	
1927	2	4	大日本女子青年団創立	3	米国より「友情の人形」贈られる	19	13	739	861
		4	兵役法公布	11	職員8 児童50 豊橋の御親閲式へ		3	122	

西 曆	年 号	重 要 記 事			教員数	学級数	児 童 数		
							内 訳	合 計	
1928	昭和 3	4 11	教科書にメートル法採用 ご大典奉祝式	10 11	南・中校舎アングル支柱取り付け300円 ご真影奉戴式 (10. 2) ご大典奉祝式 (11. 10)	20	尋 13 高 3	747 124	871
1929	4	6	国宝保存法制定		奉安庫修理・金庫購入509円75銭	20	13 3	744 124	868
1930	5	10	東京～神戸間、特急つばめ号初運転		式場拡張220円 土間建築230円	20	14 3	767 133	900
1931	6	8 9	国産トーキー映画完成 満州事変おこる (9. 18)		運動場拡張 (借地)	19	14 3	743 151	894
1932	7	5 8	5. 15事件おこる 国民精神文化研究所開設			22	15 3	769 170	939
1933	8	3 4	国際連盟脱退 丹那トンネル開通 国定教科書修正 (サイタサイタ) 等使用			21	14 4	756 186	942
1934	9	6 9	文部省に思想局をおく 室戸台風関西方面へ (9. 21)		校歌が出来た (作詞尾上紫舟 作曲陸軍 戸山学校軍楽隊)	21	14 4	771 148	919
1935	10	4	青年学校令公布	10 8	中山青年学校設立 旧校舎150坪取りこわす	20	15 4	780 149	929
1936	11	2	2. 26事件おこる	3	鉄筋校舎373.5坪 竣工42,200円 便所新築800円 物置移転100円	21	14 4	783 180	963
1937	12	7	日華事変おこる (7. 7) 名古屋で汎太平洋博覧会	4	楠公父子銅像竣工1,110円	21	14 4	791 164	955

昭3. 10. 2 今上天皇・皇后両陛下のご真影奉戴

西 曆	年 号	重 要 記 事		教員数	学級数	児 童 数	
						内 訳	合 計
1938	昭和 13	4	県庁を南外堀町へ移す 県人口300万人を こえる 国家総動員法公布	21	尋14 高 4	780 180	960
1939	14	4 5	青年学校令改正（満12～19義務制） 青少年学徒に賜りたる勅語	21	15 4	810 196	1,006
1940	15	6	文部省絶対音感教育を採用	23	15 4	801 186	987
1941	16	3 12	小学校令を改正し、国民学校令公布 太平洋戦争おこる（12. 8）	24	初15 高 4	807 184	991
1942	17	1	国民練成所設置	24	14 5	770 235	1,005
1943	18	10	大日本育英会設立	27	13 6	769 236	1,005
1944	19	4 8	学徒勤労働員実施 学童勤労令公布 学童疎開はじまる	26	14 5	774 239	1,013
1945	20	5 8	戦時教育令公布 ポツダム宣言受諾 選挙法改正（婦人参政 権）	27	15 7	806 278	1,084
1946	21	3 11	米国教育使節団来朝 日本国憲法公布	31	19 6	859 268	1,127
1947	22	3 12	教育基本法・学校教育法公布（6・3制） 児童福祉法公布	25	18	男 430 女 432	862

西 暦	年 号	重 要 記 事		教員数	学級数	児 童 数			
						内 訳	合 計		
1948	昭和 23	4 7	新制高校発足 5. P T Aの研究全国大会 教育委員会法公布	3 5	中山小学校P T A設立(3. 2) 佐々木淳教諭事故死 6. 1 P T A葬	24	18	男 432 女 423	855
1949	24	1 4	成人式はじまる 5. 教育職員免許法公布 湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞 検定教科書使用開始 新制大学発足	4	学校保健研究委嘱を受ける(1ヶ年)	21	18	432 458	890
1950	25	8 10	第二次米国教育使節団来朝 第5回国国民体育大会…県下で開催	10 3 10	国民体育大会見学 12. 特殊学級研究発 特殊学級研究発表会 表会 リズム体操祭参加	22	19	436 457	893
1951	26	5 9	独立憲章制定 児童憲章 対日平和条約・日米安全保障条約調印	4 11	体育研究委嘱を受ける(1ヶ年) 体育研究発表会	21	20	454 449	903
1952	27	5 11	独立と憲法記念式典挙行 渥美町教育委員会発足			22	19	435 437	872
1953	28	9 12	台風13号来襲(9. 26) 文部省「わが国教育の現状」を発表	9	台風13号により校舎大破損 二部授業実施	22	19	439 447	886
1954	29	6	教育の政治的中立に関する二法公布	8	鉄筋新校舎竣工246坪 1,140万円	21	17	481 449	930
1955	30	5 10	町村合併渥美町となる 日本学校給食会創設	4	渥美町立中山小学校と改称 鉄筋校舎竣工220坪 970坪	21	17	494 470	964
1956	31	6 10	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 公布 任命制教育委員会発足 国連に加盟	2	町芸能祭参加	20	17	506 471	977
1957	32	11 12	道徳の時間特設さまる 教頭の設置とその職務内容の規定を明確化	8	プール竣工11m×25m 5コース (8. 20)	19	17	496 488	984

西 曆	年 号	重 要 記 事		教員数	学級数	児 童 数			
						内 訳	合 計		
1958	昭和 33	4	学校教育法施行規則改正（道徳） 県人口400万人をこえる	4	道徳の時間特設	22	19	男 488 女 484	972
1959	34	9 12	伊勢湾台風（9. 26） 死者行方不明 5200人余 学校安全会法公布	9	台風により被害甚大 温室5坪 体育舎新築	21	19	464 442	906
1960	35	4 9	小学校入学児童戦後最低（約177万人） カラーテレビ本放送開始			19	17	417 412	829
1961	36	9 10	第二室戸台風（9. 16） 全国一斉学力調査実施			17	15	371 375	746
1962	37	3 4	教科書の無償に関する法律公布 国立工業高専12校新設	4 7	道徳研究委嘱を受ける（2ヶ年） 集中豪雨	16	14	332 344	676
1963	38	4	小学校新生に教科書無償配布	10	道徳研究発表会（11. 18）	15	13	292 308	600
1964	39	2 10	教科書無償措置法施行令公布 第18回オリンピック東京大会		給食室の移転改築 35坪	18	15	272 288	560
1965	40	10	朝永振一郎 ノーベル物理学賞	8 11	木造校舎取りこわし 宿直室の移転 屋内運動場工事はじまる	17	14	268 276	544
1966	41	5	国民の祝日法改正公布 （敬老の日・体育の日）	3 7	屋内運動場竣工774.29㎡ 1,876万円 国旗掲揚塔 25万円 12. 水洗便所	17	14	263 266	529
1967	42		県人口500万人をこえる 明治100年	4 4	体育研究委嘱を受ける（2ヶ年） 特殊学級設置	18	14 (特1)	251 271	522

西 暦	年 号	重 要 記 事		教員数	学級数	児 童 数			
						内 訳	合 計		
1968	昭和 43	7 10	小学校学習指導要領改訂告示 (昭和46年実施) 川端康成ノーベル文学賞受賞	10	学校体育研究発表会(10.27) 岩石園造園	17	13 (特1)	男 242 女 264	506
1969	44	4 7	新中学校学習指導要領告示(昭47実施) アポロ11号 月面着陸	2 10	体育優良校として表彰を受ける 交通安全優良校として表彰を受ける	19	15 (特1)	256 274	530
1970	45	3 10	日本万国博(大阪) 日中国交樹立	3 4 12	各教室へテレビ設置 PTA研究委嘱 北校舎竣工423.5㎡ 倉庫新築	21	17 (特1)	274 289	563
1971	46	3	第31回世界卓球選手権大会 名古屋	7	プール浄化装置185万円 換気29万円 図書室床14万円 バックネット19.5万円	22	17 (特1)	305 292	597
1972	47	2 9	札幌にて冬季オリンピック大会 学制100年 5. 沖縄返還(沖縄県)5.25	9	便所改築524万円 休養室35万円 教室照明23.2万円	23	18 (特1)	291 315	606
1973	48	9 10	関東大震災50年 江崎玲於奈ノーベル物理学賞	3 10	東境界工事80万円 玄関整備10万円 開校100年記念行事50万円	22	17 (特1)	293 292	585
1974	49	9 10	日本の人口1億1千万人の大台へ 佐藤栄作ノーベル平和賞	10 11	コンクリート渡り設置10万円 南校舎塗装・屋上防水64万円	24	17 (特1)	291 305	596